



# 日本一のスモモの里づくりに向けて

しおのまえ  
**山梨県南アルプス市 塩前スモモの里づくりの会**  
取組面積36.0ha(田0、畑36.0) 営農14.1ha(スモモ等)

南アルプスの麓、その名も南アルプス市の塩前地区は、県下でも有数のスモモの産地です。しかしながら山地に隣接するこの地域では、近年、サルやイノシシ、カラスといった鳥獣による被害に悩まされてきました。また地域では、「日本一のすももの里づくり」を目指し、環境にやさしい農業生産方式の確立に向けて、様々な取組を進めていました。

## 共同活動



鳥獣害対策として、**カラス捕獲檻を設置。**  
(住民説明会)

地域では、これまで鳥獣害防護柵の設置などを行ってきましたが、本対策の活用により、その維持管理や未設置地区の見回りなど、集落が一体となって取り組むようになりました。また、住民の共同活動への取組意識も高まっています。

地域では、泥上げや農道の補修などを併せて行うことで、スモモの里の生産基盤と地域コミュニティをゆるぎないものにしていくこととしています。



水路の泥上げ作業

## 営農活動

スモモの生産には、果実を食い荒らすシンクイムシ類の防除がかかせません。塩前地区では、農薬の使用を低減するため試行錯誤を繰り返した結果、シンクイムシには交信攪乱剤が有効であることが判明しました。そこで交信攪乱剤を利用した減農薬防除体系を確立、平成19年にはスモモ栽培農家全24戸のうち23戸で先進的取組を行なうまでになりました。

一般的に昆虫は性フェロモンをメスが放出し、オスはその匂いをたどってメスにたどり着き交尾をします。交信攪乱剤は、メスが放出するフェロモンによく似た匂いを果樹園全体に充満させ昆虫の交尾を阻害して害虫を防除します。

交信攪乱剤を設置しシンクイムシを防除



地域では、防除技術講習会の開催やほ場近くにのぼり旗をたてるなど、「日本一のスモモの里」を目指して、地域が一体となって環境に配慮した生産方式の定着を図り、併せて活動を広くPRして、産地のイメージアップに努めることとしています。

のぼり旗もたて、栽培意欲満々です



# 施設の長寿命化と農村環境向上のために

山梨県南アルプス市 <sup>ありの</sup>有野保全委員会

取組面積105.0ha(田59.0、畑46.0)

有野地区では、農業用水など老朽化した施設の保全管理は、これまで有野区が行ってききましたが、近年は混住化が進み、ゴミの不法投棄や水質悪化に伴う悪臭の発生などの新たな問題も発生してきました。

地域では、本対策を契機として、土地改良区や堰管理組合が中心となって既存組織を拡大した新たな活動組織(非農業者を含む13団体)をつくり、これらの問題解決に向け取組を始めました。

## 活動内容

有野地区では、農業用水路などの老朽化した施設の補修は、施設の機能診断時や作業時に、専門家による補修技術の講習を受けるなど、構成員の技術力を高めながら活動を行っています。また、農業や農業用水などの理解を深めるための施設見学会の開催や、子供会や自治会と連携した清掃活動など、農村環境向上活動にも、子ども達も含め多くの地域住民が参加するなど、地域が一体となり取り組んでいます。



水路の機能診断と補修技術の研修会



農道へのアスファルト補修(合材敷均し)



農業や農業用水の理解を深める施設の見学会(四ヶ坊堰)



小学校の親子クリーンアクションと連携した清掃活動

## 活動の成果

地域では、共同活動の実践や広報活動などを通じて、農地や農業用水への理解が深まり、農村環境向上への意識が高まっています。また、地域のまとまりもさらに強くなってきています。

# 耕作放棄地を活用した地域交流活動

山梨県上野原市 <sup>うえのはら</sup>上野原西部地域振興会

取組面積24.0ha(田8.0、畑16.0)

一耕作放棄地を利用してそばの作付けを行い、景観の保全を行うとともに、  
収穫後、地域みんなでそばを食べ交流会一

本地区は、市街地と隣接しており、新住民の増加による混住化が進行し、地域での共同活動や交流もこれまではほとんど行われていませんでした。

このため、本地区では農業経験者や後継者の活動の場として、地域住民との交流の場を増やし、住民同士の連携を図るため、最近目立ち始めた耕作放棄地を活用してそばの栽培を行うこととしました。

## 活動内容



地域住民  
みんなでそば  
の作付け



そばの花で  
景観を保全

植え付けには、区長の呼びかけで平日にもかかわらず地域住民が積極的に参加してくれました。地元住民の多くは、そばの作付けや収穫後の作業について未経験でしたが、農業者からの指導を仰ぎながら楽しく作業ができました。また、植え付け後、近隣の住民が徐々に草取りを行う気持ちも出てきました。子供達をはじめ、地域住民には初めてそばの花を見る人も多かったようです。



収穫したそばを粉にします



皆で作ったそばは格別の味でした

## 活動の成果

活動を通じて、地域住民の交流が深まり、地域住民がおもしろみを持つことができ、共同活動についての関心が高まっています。

今後とも耕作放棄地を減少させるため、そば以外にも花の植栽など、景観形成活動が地域に根づくよう取組を行うこととしています。

また、集落間の交流をさらに深め、活動エリア全体での交流を推進し、そば粉を使用した「そばもち」などの食材も研究し、町おこしにつなげていきたいと考えています。